

障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

○概 評

①非該当とした項目（放課後等デイサービス、児童発達支援については「いいえ」とした項目）の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

①非該当とした項目の説明

7. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている

⇒現在は第三者による外部評価に取り組めていない。

22. 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。

⇒現在は医療的ケアが必要な児童を受け入れていない。

26. 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。

⇒今年度はできていないが、機会を作っていく。

32. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。

⇒コロナの影響もあり、一斉に集まる機会は持てなかった。

38. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知して

いる。⇒保護者へのマニュアルの周知が十分ではなかった。

41. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に

事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。

⇒身体拘束を行う必要の児童がいない。

42. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている

⇒医師の指示書をいただくまでに至っていない。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
7.第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげる。	実施できていなかった。	継続	2022年度中
26.放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	コロナの影響もあり、集まって活動する機会を持てなかった。	継続	2022年8、9月
32.父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援している	コロナの影響もあり、集まって活動する機会を持てなかった。	継続	2022年度中

サービス改善計画書

策定日： 令和5年3月21日

事業・サービス名： 放課後等デイサービス

施設・事業所名： ウイズ・ユ－大宝

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
7. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげる。		どのような期間が外部評価を行ってくれるのか不明。	まず関連機関等にどのようなところが外部評価を行ってくれるのか確認。その後、評価の依頼。	2023年度内	小田	経費がかかる場合、事業所経費より支出
26. 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		コロナの影響もあり、放課後児童クラブ等の交流ができなかった。	コロナの動向を見て、夏休み等の行事予定に放課後児童クラブと交流を持つイベントを企画する。	8、9月	小田	経費がかかる場合、事業所経費より支出
32. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援している。		コロナの影響もあり、集まる機会が持てなかった。保護者様に集まっていただくための場所の確保も必要。	関連会社のウイズ・ユ－miraiの場所を借りて実施を検討。	2023年度内	小田	経費がかかる場合、事業所経費より支出